

報道関係各位

「特別展 見立て劇場 エクストラヴァガンツァ」オープニング記念特別対談

「日本の手仕事と工芸の可能性」

青柳正規氏（国立西洋美術館館長・東京大学名誉教授）×麴谷宏氏（グラフィックデザイナー）

特定非営利活動法人アート・ビオトープは平成22年4月16日（金）から5月9日（日）まで、二期倶楽部協力のもと、二期倶楽部本館ホールにて「特別展 見立て劇場 エクストラヴァガンツァ」を開催いたします。本展覧会は、地元・栃木の作家、二期倶楽部が運営する「ギャラリー冊」でご紹介してきた作家、そして「アート・ビオトープ那須」のアーティスト・イン・レジデンス・プログラムで招聘してきた作家が饗宴し、茶の湯の工芸の世界を展開します。優れた技術と豊かな素材に恵まれた栃木の伝統工芸と、表現の第一線で活躍する現代作家たちとの出会いを、ひとつのコンテンポラリーな劇場に見立てて展開するユニークな展覧会です。

そのオープニング記念イベントとして、4月16日16時より、国立西洋美術館館長の青柳正規氏と、グラフィックデザイナーの麴谷宏氏を招き、「日本の工芸の可能性」や「手仕事の世界性」について語っていただく特別対談を開催いたします。会場には、麴谷氏によりガラスでつくられた貴重な茶道具も展示される予定です。

西洋美術に精通されてきた青柳正規氏と、ガラス作家でもある麴谷宏氏との独自の工芸論が交差して、どんな興味ある対談になるかと期待がふくらみます。

ぜひ、今回の本展覧会のオープニング記念特別対談を取材していただきたくご案内申し上げます。

企画名：「特別展 見立て劇場 エクストラヴァガンツァ」オープニング記念特別対談

日 時：4月16日16時～

会 場：二期倶楽部本館ホール

対 談：青柳正規氏（国立西洋美術館館長・東京大学名誉教授）

麴谷宏氏（グラフィックデザイナー）

テーマ：「日本の手仕事と工芸の可能性」

プロフィール

青柳 正規

ギリシャ・ローマの考古学が専門で、日本におけるポンペイ研究の第一人者。「皇帝たちの都ローマ」「ポンペイの遺産」など多数の著書を著しております。近年は日本の工芸に興味を持たれ、世界に類のない造形性をもった日本の工芸を世界に通じるスタンダードとして理論化し、世界に発信しようと幅広い活動を展開されています。

麴谷 宏

「無印良品」を創案するなど日本を代表するグラフィックデザイナーである麴谷氏はまた、茶人でもあり、ガラス作家でもあり、とくにイタリア・ムラノ島でおつくりなるガラス作品は、数々の展覧会を通じて高い評価を得ています。本年7月30日より8月3日まで那須・横沢地区で開催されますサマー・オープン・カレッジ「山のシユレー」（主催：特定非営利活動法人アート・ビオトープ）のガラス工房ワークショップにガラス作家としてご参加いただくことが決定しています。

■ 本資料に関する報道機関からのお問い合わせ

広報窓口：片山亜香梨 (a-katayama@nikiresort.jp)

住所：東京都渋谷区大山町 45-18 Tel:03-3466-5818/Fax:03-3466-5902